

平成31年 産炭地域振興・エネルギー問題調査特別委員会 開催状況報告

(経済部産業振興局環境・エネルギー室)

開催年月日 平成31年2月6日

質問者 日本共産党 菊地 葉子 委員

答弁者 経済部長、環境・エネルギー室参事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 電力の安定的供給について</p> <p>一昨日、札幌市の北区と東区で1万8千60戸、先月28日には東区でおよそ1万6千戸と短い期間で広い範囲で停電が相次ぎました。昨年9月6日のブラックアウトを経験している市民に不安が広がっています。電力は今、あらゆる生活の分野に欠くことのできないものであり、電力事業者には確実に安定的な供給をはかる責任と使命があります。</p> <p>このような事態がなぜ繰り返されるのか、その原因の徹底究明と再発防止が求められますので、その立場で何点かお伺いしてまいります。</p> <p>(一) 停電の原因などについて (菊地委員)</p> <p>まず一回目の1月28日の停電の原因は何か、どう対処したのか。また二回目2月4日の停電の原因と対処についてそれぞれ伺います。また北海道にはいつ、連絡が入ったのかお伺いいたします。</p> <p>(二) 設備の点検について (菊地委員)</p> <p>1月28日停電発生が16時9分ですから、その10分後には道に連絡が入っています。2月4日、21分後ですね、この度の経験で北海道への連絡は非常に早くなっているというふうに思いますし、引き続き、この体制が継続されていってほしいというふうに思います。</p> <p>1月28日の停電の原因は電力ケーブルとスイッチとの接続部分付近で故障が発生したとのことですが、この設備は、いつ点検されたものなのか。また、2月4日の断線の原因はスイッチが作動しなかったとのことですが、ここは昨年点検したばかりだというふうに聞いています。点検対象の部分以外の故障なのか。原因となったスイッチは12年に一度の点検基準といいますけれども、点検そのものの信頼性が問われるというふうに思います。道としてはどのように把握していたのかお伺いいたします。</p> <p>(三) 今後の対策について (菊地委員)</p> <p>北電のホームページを見てみましたら、結構設備の故障ということで、全道的に停電があちこちで起きているなというふうに認識しました。今後の対策として事故や故障が想定されるものについては、総点検をすべきではないかと考えますが北電に申し入れるべきではないでしょうか。</p>	<p>(西岡参事)</p> <p>停電の原因などについてでございますが、北電によれば、1月28日に発生した停電は、東苗穂にある変電所の機器のうち、電力ケーブルとスイッチとの接続部分付近で故障が生じたものであり、また、2月4日に発生した停電は、新琴似にある変電所の機器のうち、電気事故を検知し、電力を遮断するスイッチを動作させる機能に故障が生じたものでありまして、いずれも現在進めているメーカーによる詳細な調査に基づき、対処するとのことでございます。</p> <p>北電からは、道の所管部局に対し、1回目の停電は、1月28日16時19分、2回目の停電は、2月4日5時57分にそれぞれ電話で連絡があったところでございます。</p> <p>(西岡参事)</p> <p>設備の点検についてでございますが、送配電設備の点検は、北電が電気事業法に基づき北海道産業保安監督部に届け出ている保安規程に基づき社内で作成したマニュアルにより実施しているものと承知しております。</p> <p>1月28日の故障箇所である電力ケーブルとスイッチの接続部分付近の点検は2014年に実施しており、また、2月4日の故障箇所である電力を遮断するスイッチの点検は昨年実施し、異常がなかったところであり、今回の停電を踏まえ、故障部分を含め、メーカーによる詳細な分析を行うこととしているところでございます。</p> <p>(西岡参事)</p> <p>北電の対応についてでございますが、北電によれば、いずれの停電についても、詳細な調査を踏まえ、同様の故障が他の機器でも発生すると想定される場合には、これらの機器について点検を検討するとのことであり、道としては、引き続き、的確な対応を要請したところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(四) 道民への公表について (菊地委員) 原因と対策について道民に公表すべきと考えますが、道の考え方をお伺いいたします。</p> <p>(五) 電力の安定供給について (菊地委員) 先月28日、2月4日それぞれの停電の時にはですね、わが会派の議員は北電の変電所に調査にも行きましたし、北電の真弓社長あてに原因究明、再発防止等などの要請もしてきたところです。2月4日の停電では街路灯や信号機も消え、警察官による車両誘導など交通の混乱がありました。また、ストーブがつけられない、ボイラーが使えずお湯が出ないといった苦情も相次ぎました。とりわけ、冬場における暮らしの混乱は、住民に不安を与えます。 最後の質問にはなりますが、改めて電力の安定供給について、北海道としての取組についてお伺いしたいと思います。</p>	<p>(西岡参事) 道民への情報提供についてでございますが、北電では、これまでも停電が発生した場合には、停電が発生した場所、停電戸数、原因について、ホームページで公表しているところでございます。 あわせて、9月に発生した大規模停電の際、利用者から、「復旧の目途などの情報発信が少ない」との声が寄せられたことを踏まえ、ツイッターを活用して、復旧の目途についても、発信しているところでございます。 道としては、こうしたさまざまな情報の提供を通じて、引き続き、利用者の不安を払拭していくことが重要と考えているところでございます。</p> <p>(経済部長) 電力の安定供給についてであります。暮らしと経済の基盤である電力につきましても、安定的に供給されることが何よりも重要であります。 道といたしましては、今後とも、北海道電力に対し、発電設備や送配電網の点検を徹底をし、電力の安定供給に万全を期すよう求めてまいります。</p>